

■ 目 次 ■

校歌・応援歌・創立記念式歌	1
巻頭挨拶・祝辞	
支部長挨拶	支部長 内山 郁夫 (高22回) 5
校友会会長祝辞	校友会会長 石田 誠夫 (高22回) 6
学校長祝辞	学校長 橋本 敏郎 7
東京支部 この10年間の歩み	幹事長 久島 士郎 (高28回) 8
特別企画「私の高田中学・高校時代」～一枚の写真から～	10
策ちゃ(佐藤策次先生)のこと	金子 直 (中56-1回) 12
東京支部、上越学生寮と上越学友会の因縁ー平松先生と鳥羽先生の思い出ー	松枝 迪夫 (中57回) 13
昭和19年(1944年)の頃	中島 幸雄 (高2回) 16
終戦直後の下宿生	小菅 勝 (高3回) 17
佐渡おけさ・縄跳び・登山	入江 顕治 (高4回) 18
縄跳びの日々	神林 正昭 (高5回) 19
高田高校という類稀れな学び舎について	小柳 仁 (高6回) 20
男女共学と「夕鶴」の舞台	池主 保 (高7回) 21
加藤先生の「正しい歩き方」	須藤 昌二 (高8回) 22
体育大会の騎馬戦の迫力	江間 晴夫 (高9回) 23
校舎が火災に！	古川 明 (高10回) 24
高・青春の思い出とその後	大山 忠一 (高11回) 26
山と高校のニッチな記憶	竹林 征雄 (高12回) 27
汽車通と水泳部と	岩沢 二郎 (高13回) 28
幻の高高女子山岳部員	伊藤 謙二 (高14回) 29
良き師に恵まれて	上野 邦治 (高15回) 30
柔道部と青春	宮澤信三郎 (高16回) 31
高々校歌	荒井 和夫 (高17回) 32
思い出の高校時代ーそしてダンスとクラス会ー	吉越 昌治 (高18回) 33
良き師、良き友～下宿生活	羽田 恒夫 (高19回) 34
校舎壁面でロッククライミングもどき	石塚 正英 (高20回) 35
運動会と合唱祭	矢島 道子 (高21回) 36
幻の火打、春山登山	岡沢 義隆 (高22回) 37
路頭に迷わず露頭調査(地質調査)に明け暮れた3年間	宮下 隆明 (高23回) 38
越後駒ヶ岳登山の思い出	飯吉 幹夫 (高24回) 39
高田高校の思い出	小関 明 (高25回) 40

創立百周年記念行事にふれて	木下 玲子 (高26回)	41
合唱部の思い出 ハーモニーに魅せられて	滝沢 一成 (高27回)	42
思い出の恩師と、濃かった学校生活	斉藤 史郎 (高28回)	43
木の住処があって	古谷美穂子 (高29回)	44
人生の基礎となった高高での部活動(テニス)	三村 到 (高30回)	45
私の高田高校在学時代～一枚の写真から～	中川 誠 (高31回)	46
小さな恋のメロディ	大西由美子 (高32回)	47
生徒も生徒なら先生も	内藤 克 (高33回)	48
何ものにも代え難い同期の仲間との高校時代の思い出	高野 修 (高34回)	49
晴ゝ走、雨読の原点	柳 孝 (高35回)	50
私の高校時代 一枚の写真から	松原 勝昭 (高36回)	51
実はまだ続けています	宮本 朋子 (高37回)	52
私服と誇り	城戸 陽二 (高38回)	53
夏の思い出・最後の中越戦	宮腰 知博 (高39回)	54
刺激を受けた3年間	本庄 正明 (高40回)	55
父の死に寄せて	伊藤 裕子 (高41回)	56
最後の体育祭	小池上 繁 (高42回)	57
昔懐かしい故郷の味	飯田 洋明 (高43回)	58
器楽部での出会いは宝物	岡沢 美和 (高44回)	59
スキー授業の思い出	小股 卓 (高45回)	60
グラウンドに、まだホイッスルは響く	田島 慶太 (高46回)	61
諦めたらそこで試合終了だよ	江島 正康 (高47回)	62
四季とともにある高高の思い出	岩崎 茜 (高48回)	63
熱く燃えた我が青春！部活と仲間と恩師	星野 諭 (高49回)	64
それぞれの居場所	新倉香菜子 (高50回)	65
かけがえのない仲間	青山 道生 (高51回)	66
英語とホームステイと私	小山 健太 (高52回)	67
高校時代から未来へ～サッカーとの縁～	古川 文 (高53回)	68
高田高校で過ごした3年間	南保 賢治 (高54回)	69
「ホタルイカの光」作曲家になる夢を追い続けて	長崎 一生 (高55回)	70
祝卒業20年。記念に大宴会をしたいものですね	霜越 安文 (高56回)	71
高校時代の思い出	竹内 大輔 (高57回)	72
アメニモマケズ	上原 賢治 (高58回)	73
2006年6月10日	中村 拓 (高59回)	74
私の高田高校時代。野球部に情熱を捧げた3年間	北村 貴寛 (高60回)	75
グラウンドがない野球部活動もわるくない	阿部 太郎 (高61回)	76
社会人として振り返る新体操部での日々	梅澤 未来 (高62回)	77
青春をクイズに捧げた話	砂田 凱保 (高63回)	78
二足の草鞋を履き走り抜けた高校時代	丸山 夢乃 (高64回)	79
春夏秋冬から地元を想う	山崎健太郎 (高65回)	80

高校時代の経験と人とのつながり	神戸 諒平 (高66回)	81
中庭のダンスステージ	西澤あかり (高67回)	82
はじめの一步、全国への邁進	高倉 礼 (高68回)	83
宝物のような3年間	古川 秀人 (高69回)	84
“小さな夢”が叶った瞬間	生越 月菜 (高70回)	85
思い出を辿って	吉田 桂都 (高71回)	86
理数科にて	横田 桜 (高72回)	87
私と高高と白球と	大山 智 (高73回)	88
仲間と走り抜けた3年間～陸上競技部の思い出～	小林 優介 (高74回)	89
青春	佐藤 友梨 (高75回)	90
コロナウイルスによって失われた青春を取り戻すことができたのか	江戸 心大 (高76回)	91

特別寄稿

高田高校校友会東京支部 第二期を支えた4人の男	佐久間昇二 (高2回)	92
-------------------------	-------------	----

コラム

歴代校友会東京支部事務所探訪

… 石澤一郎(高32回)、高橋 誠(高26回)、清水史枝(高27回)、霜越隼人(高32回)	94
---	----

東京支部創立60年記念事業の紹介

功労者表彰	久島 士郎 (高28回)	98
-------	--------------	----

資料集

母校150年の歩みと東京支部60年の歩み	102
支部会報『雪椿』の歩み(平成26年以降)	104
写真集	106

●題字「雪椿」

故 下山敏郎 元支部長

雪椿は新潟県の木(上越市の花はツバキ)であるとともに、校友会東京支部の運営及び会報刊行に多大な尽力をされた故椿毅陸氏(中56回)を偲んで命名されたものです。(編集部)

●表紙絵・本文カット

故 村山 陽 先生

新潟県巻町(現 新潟市西蒲区)出身・昭和6年生まれ・新潟大学教育学部芸能科卒業
昭和36年～昭和57年までの21年間絵画教育を主に高田高等学校に奉職。一水会委員・日展会友

野添晴美(高30回)

武蔵野美術短期大学油彩科、同専攻科卒業

武蔵野美術大学パリ賞受賞にてパリ留学。サロンドートンヌ展入選